

公表

## 「障害児通所支援クレヨンの家」事業所における自己評価総括表（放デイ）

○事業所名	障害児通所支援クレヨンの家（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	R8.1.7		～	R8.1.23
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名（内同世帯2名）	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	R8.1.7		～	R8.1.23
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R8.2.25			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育・・・サーキットやゲームに色々な身体の動きを取り入れ、実施することで運動能力や体力の向上、脳の活性化、意欲の向上、心の育成、社会性、コミュニケーション能力の向上等、心身の基礎を形成していくことができるようにする。継続して行う事で苦手なことも少しずつできるようになり、自己肯定感を高めていくことができる。	様々な運動器具を使ったり、YouTube等で楽しみながら体を動かすことができる運動ゲーム等を検索し取り入れている。また、学校の体育で実施されるマット運動や跳び箱、鉄棒、大縄跳び等を取り入れ、前もって練習していくことで不安なく取り組むことができるように配慮している。	身体を使うゲーム、頭をつかって考えるゲーム等、以前行ったものや新しいものを織り交ぜ、楽しみながら最後は達成感を感じることができるような内容を考えていく。
2	同一建物内に放課後児童クラブがあり、他の学校や学年の異なる子どもたちと交流できる。また、児童クラブと併用している児童も多く、違和感なく中に入ることができている。	平常時、長期休暇時で時間を決め、児童クラブの子どもたちに活動室や廊下を開放し、遊具を提供して思い思いに自由に遊ぶことができるようにしている。一緒に遊ぶことでコミュニケーションを図ることができている。	今の状態を継続して取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善計画や安全マニュアル（事故・災害・緊急時）は整っているが、保護者の方へ情報が伝わりにくい状況である。	マニュアル等の設置場所がわかりにくい、迎え時等は保護者の方も忙しく、ゆっくり見ていただく時間がない。 情報発信が不十分なところがある。	SNSを十分に活用し、どのようなマニュアルがあるか、実施した訓練等必要な情報発信を行っていく。 また、訪問時に見てもらえるよう、玄関先のマニュアルの設置場所をわかりやすくしておく。 質問等あった際に職員が常に答えられるよう、内容を周知しておく。